

国際大会派遣について

2021年4月26日／一般社団法人日本水中スポーツ連盟

フィンスイミングジュニア世界選手権大会（イタリア・リニャーノサビアドーロ）6/13～19

現状での派遣は行わない。

イタリア入国前14日間に日本を含む一部の国・地域に滞在又は乗換えをした者の入国を原則禁止する。

https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html

スポーツ大会での入国が難しい状況。帰国時も「出国前72時間以内の検査証明書」の提示が必要。したがって、大会が変更（開催地、時期など）されない限り派遣はできない。

フィンスイミング世界選手権大会（ロシア・トムスク）7/3～9

下記の条件により、派遣検討中

全ての外国人は、ロシアへの渡航直前3日以内に受けたPCR検査の結果としてコロナ陰性であることを証明する文書（ロシア語又は英語のもの）を所持することが必要（※指定フォーマットはないものの、陰性証明書に検査機関の押印がないものは認められない場合がある）。

https://www.ru.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20210423.html

ロシアへの入国は陰性証明により可能である。また現状では、世界選手権が、2022ワールドゲームズの選考大会となる可能性が高いため、ワールドゲームズへの可能性のある選手らの派遣を検討したい。2021年の派遣について日本選手権延期が決定したことにより、代表選手の選考については、以下とする。

2019年開催の日本選手権大会において、個人種目で派遣記録を突破し、アジア選手権長野大会代表選手に選考された中で、明確にワールドゲームズに出場することを目指す選手とする。

さらに該当者が以下の要件を満たし、了解し、事務局に申し出たのち、選考委員会で派遣を決定する。

1. 2020年および2021年に連盟に選手登録を行い、日本選手権大会にエントリーしていること
2. 定期的に練習を行い、競技力向上に努めていること
3. 遠征の費用が高額になる可能性があることを理解すること（空路便の減少、運休による移動費用、また滞在時も宿泊はシングルが望ましいこと、参加費、検査費用など）
4. 現状、帰国後2週間の自己隔離が必要なことから、4週間程度の遠征期間を確保できること

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

フィンスイミング大学世界大会（ロシア・トムスク）7/7～11

検討中

世界選手権大会から引き続き開催される予定になっているが、詳細発表が4月24日だったため、対応を検討し、近日中に発表する。

以上